



M E R F

第41回 定時株主総会 招集ご通知

天然資源の少ない日本で資源の有効 利用を透明性の高い所で行いたい



M E R F

~MEtal Recycling for the Future~

代表取締役社長 黒谷 暁

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、第41回定時株主総会招集ご通知をお届けいたします。

第41期の当社グループを取り巻く外部環境は、新たな地政学リスク拡大や物価上昇、為替相場の変動など、先行き不透明な状況が常態化しております。しかしながら、生成AIの普及や世界的な電力網の増強需要などを背景に、主力取り扱い製品の銅の国際価格が歴史的な最高値圏で推移する事業環境となりました。このように銅相場の好影響に加え、利益率向上とキャッシュ・フロー健全化を最優先課題として、仕入れ先の拡大や取扱品目の見直しを行うことで利鞘の改善を達成しました。加えて2025年1月に買収した米子会社「CMX Metals」が統合初年度より好業績となりました。この結果、前期の赤字から大幅な黒字転換を果たし、過去最高益を達成することができました。これもひとえに株主の皆様の温かいご支援の賜物と、心より深く感謝申し上げます。第42期におきましても、収益基盤の安定化を最優先とし、グローバルな調達ネットワークのさらなる強化、国内工場の設備更新や生産効率の向上によるコスト競争力の維持に努め、さらなる持続的成長を目指してまいります。

弊社は、創業以来「天然資源の少ない日本で資源の有効利用を透明性の高い所で行いたい」との理念のもと事業展開を図ってまいりました。おかげさまで、株主の皆さまのみならず仕入れ先様・得意先様のご愛顧に支えられ今日の業容を築くことができました。

弊社は、今後も「循環型社会を体現する企業」として日本の枠を超えグローバルに展開するとともに弊社の強みである技術力の更なる増強に努めてまいります。

社会環境が激変していく中で柔軟に対応し、リサイクル業界で一步先をいく企業として常に進化し続ける企業へと躍進させていく所存です。そして世の中から常に求められる企業であり続けるために、理念の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願いし申し上げます。

証券コード 3168
2026年11月2日
(電子提供措置開始日) 2026年10月29日

株 主 各 位

富山県射水市奈呉の江12番地の2
株 式 会 社 M E R F
代表取締役社長 黒 谷 暁

第41回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第41回定時株主総会を下記により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、当日ご出席されない場合は、書面または電磁的方法(インターネット等)によって議決権行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、2026年11月18日(水曜日)午後5時15分までに議決権を行使くださいますようお願い申し上げます。

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報(電子提供措置事項)について電子提供措置をとっており、インターネット上の以下の各ウェブサイトに掲載しておりますので、いずれかのウェブサイトアクセスの上、ご確認くださいようお願い申し上げます。

【当社ウェブサイト】

<https://www.merf.co.jp/ir/index.html>

【株主総会資料 掲載ウェブサイト】

<https://d.sokai.jp/3168/teiji/>

【東京証券取引所ウェブサイト(東証上場会社情報サービス)】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

(上記東証ウェブサイトアクセスいただき、「銘柄名(会社名)」に「MERF」又は「コード」に当社証券コード「3168」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類／P R 情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。)

敬 具

記

1. 日 時 2026年11月19日（木曜日）午前10時
2. 場 所 富山県高岡市新横町1番地
ホテルニューオータニ高岡 4階 鳳凰の間
(会場が前回と異なっておりますので、ご来場の際は、末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照のうえ、お間違えのないようご注意ください。)

3. 目的事項

報告事項

1. 第41期（2025年9月1日から2026年8月31日まで）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第41期（2025年9月1日から2026年8月31日まで）
計算書類報告の件

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

第2号議案 取締役1名選任の件

4. 招集にあたっての決定事項（議決権行使についてのご案内）

書面（郵送）により議決権を行使された場合の議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取り扱いいたします。

インターネット等および書面(郵送)の両方で議決権行使された場合は、インターネット等による議決権行使を有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。また、インターネット等により複数回、議決権を行使された場合は、最後の議決権行使を有効とさせていただきます。

以 上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

本株主総会においては、書面交付請求の有無にかかわらず、一律に電子提供措置事項を記載した書面をお送りいたします。なお、電子提供措置事項のうち、会計監査人の状況及び業務の適正を確保するための体制等の整備に関する事項、「連結株主資本等変動計算書」及び「連結注記表」、「株主資本等変動計算書」及び「個別注記表」、並びに「連結計算書類に係る会計監査報告」、「計算書類に係る会計監査報告」、及び「監査役会の監査報告」につきましては、法令及び当社定款の規定に基づき、お送りする書面には記載しておりません。

従いまして、当該書面は、監査役及び会計監査人が監査報告及び会計監査報告の作成に際して監査した書類の一部であります。

なお、電子提供措置事項に修正が生じた場合は、前記インターネット上の各ウェブサイトにてその旨、修正前の事項及び修正後の事項を掲載させていただきます。



## 議決権行使についてのご案内

株主総会における議決権は、株主の皆さまの大切な権利です。  
株主総会参考書類をご検討のうえ、議決権を行使していただきますようお願い申し上げます。  
議決権を行使する方法は、以下の3つの方法がございます。



### 株主総会にご出席される場合

議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

日 時

2026年11月19日（木曜日）  
午前10時  
(受付開始:午前9時30分)



### インターネット等で議決権を行使される場合

次頁の案内に従って、議案の賛否をご入力ください。

行使期限

2026年11月18日（水曜日）  
午後5時15分入力完了分まで



### 書面（郵送）で議決権を行使される場合

議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、ご返送ください。

行使期限

2026年11月18日（水曜日）  
午後5時15分到着分まで

## 議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

**議 決 権 行 使 書** 株主番号 ○○○○○○○○ 議決権の数 XX 個

御中

××××年 ×月××日

○○○○○○○

スマートフォン用  
議決権行使  
ウェブサイト  
ログインQRコード

見 本

○○○○○○○

ここに議案の賛否をご記入ください。

#### 第1号・第2号議案

- 賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 反対する場合 >> 「否」の欄に○印

※議決権行使書用紙はイメージです。

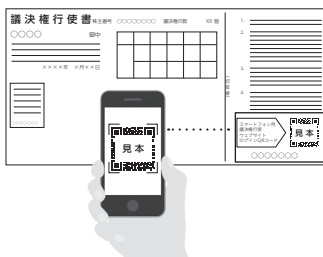
- ・インターネット等および書面（郵送）の両方で議決権行使をされた場合は、インターネット等による議決権行使を有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。また、インターネット等により複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。
- ・書面（郵送）により議決権を行使された場合の議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合は、賛成の表示があったものとしてお取り扱いいたします。

# インターネット等による議決権行使のご案内

## QRコードを読み取る方法 「スマート行使」

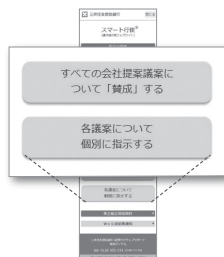
議決権行使コードおよびパスワードを入力することなく議決権行使ウェブサイトへログインすることができます。

- 1 議決権行使書用紙右下に記載のQRコードを読み取ってください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- 2 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。



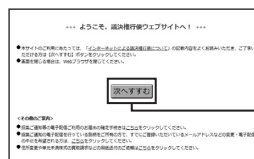
**「スマート行使」での議決権行使は1回に限り可能です。**

議決権行使後に行使内容を変更する場合は、お手数ですがPC向けサイトへアクセスし、議決権行使書用紙に記載の「議決権行使コード」・「パスワード」を入力してログイン、再度議決権行使をお願いいたします。  
※QRコードを再度読み取っていただくと、PC向けサイトへ遷移できます。

## 議決権行使コード・パスワードを入力する方法

議決権行使ウェブサイト <https://www.web54.net>

- 1 議決権行使ウェブサイトへアクセスしてください。



「次へすすむ」をクリック

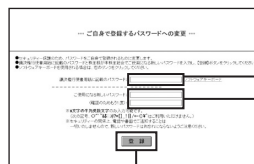
- 2 議決権行使書用紙に記載された「議決権行使コード」をご入力ください。



「議決権行使コード」を入力

「ログイン」をクリック

- 3 議決権行使書用紙に記載された「パスワード」をご入力ください。



「パスワード」を入力

実際にご使用になる新しいパスワードを設定してください

「登録」をクリック

- 4 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

※操作画面はイメージです。

インターネットによる議決権行使でパソコンやスマートフォンの操作方法などがご不明な場合は、右記にお問い合わせください。

三井住友信託銀行 証券代行ウェブサポート 専用ダイヤル  
電話番号：0120-652-031 (フリーダイヤル)  
(受付時間 9:00～21:00)

機関投資家の皆様は、株式会社ICJの運営する機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことが可能です。

# 事業報告

(2025年9月1日から  
2026年8月31日まで)

## 1. 企業集団の現況

### (1) 事業の状況

#### ① 事業の経過及び成果

当連結会計年度における当社グループを取り巻く外部環境は、国内においては雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調継続で推移したものの、増大する地政学リスクや米国の関税政策、エネルギー価格や物価上昇の継続、金利の上昇など、景気を下押しする要因もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。銅価格は、生成AI普及に伴うデータセンターの建設急増、EV及び世界的な電力網の増強需要に加えて、鉱山供給の逼迫懸念を背景に、国際価格が歴史的な最高値圏で推移いたしました。ロンドン金属取引所期中平均で前連結会計年度比32.7%高、為替相場は同5.3%円安に推移したことにより、期中平均円ベースCash価格では同40.0%高となりました。

このような外部環境のなか、当社グループは利益率の向上とキャッシュ・フローの健全化を最優先課題とし、仕入れ先の拡大、取り扱い品目の見直しを行いました。残念ながら販売数量はインゴットでは前連結会計年度比3.6%減少、リサイクル原料も同8.5%減少したことにより、全体では同6.3%の減少となりましたが、銅価格の高騰や利鞘の改善、及び米国子会社CMX Metals社における北米市場の需要取り込みが功を奏し、この結果、当連結会計年度の売上高は1,068億45百万円（前連結会計年度比29.6%増）、営業利益は44億40百万円（前連結会計年度は営業利益1億17百万円）、経常利益は43億42百万円（前連結会計年度は経常損失2億20百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は27億91百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失2億3百万円）となりました。

事業別では、非鉄金属事業売上高は1,060億31百万円（前連結会計年度比29.5%増）、美術工芸事業売上高は8億13百万円（前連結会計年度比45.8%増）となりました。

品目別では、インゴット売上高は457億42百万円（前連結会計年度比28.7%増）、リサイクル原料売上高は599億88百万円（同30.1%増）、その他売上高は3億円（同30.3%増）となりました。

個別決算の業績につきましては、売上高は963億24百万円（前会計年度比22.6%増）、営業利益41億87百万円（前会計年度は7百万円の営業損失）、経常利益40億70百万円（前会計年度は2億8百万円の経常損失）、当期純利益は25億63百万円（前会計年度は1億78百万円の当期純損失）となりました。

・事業別売上高

| 事業区分   | 第40期<br>(2025年8月期) |       | 第41期<br>(2026年8月期) |       | 前連結会計年度比   |      |
|--------|--------------------|-------|--------------------|-------|------------|------|
|        | 金額                 | 構成比   | 金額                 | 構成比   | 金額         | 増減率  |
|        | 千円                 | %     | 千円                 | %     | 千円         | %    |
| 非鉄金属事業 | 81,905,458         | 99.3  | 106,031,968        | 99.2  | 24,126,510 | 29.5 |
| 美術工芸事業 | 558,000            | 0.7   | 813,773            | 0.8   | 255,773    | 45.8 |
| 合 計    | 82,463,458         | 100.0 | 106,845,741        | 100.0 | 24,382,283 | 29.6 |

② 設備投資の状況

当連結会計年度中において実施いたしました当社グループの設備投資の総額は、3億43百万円であります。

③ 資金調達の状況

当連結会計年度における設備投資及び運転資金は、自己資金、金融機関からの借入金及びセールアンドリースバック取引によりまかなっております。

④ 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

⑥ 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

⑦ 他の会社の株式その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況

該当事項はありません。

## (2) 財産及び損益の状況

### ① 企業集団の財産及び損益の状況

| 区 分                                                             | 第 38 期<br>(2023年8月期) | 第 39 期<br>(2024年8月期) | 第 40 期<br>(2025年8月期) | 第 41 期<br>(当連結会計年度)<br>(2026年8月期) |
|-----------------------------------------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------------------|
| 売 上 高 (千円)                                                      | 84,594,373           | 82,070,144           | 82,463,458           | 106,845,741                       |
| 経 常 利 益 又 は<br>経 常 損 失 (△) (千円)                                 | 227,545              | 1,037,376            | △220,261             | 4,342,249                         |
| 親会社株主に帰属する<br>当 期 純 利 益 又 は<br>親会社株主に帰属する<br>当 期 純 損 失 (△) (千円) | 170,261              | 532,504              | △203,114             | 2,791,693                         |
| 1株当たり当期純利益又は<br>1株当たり当期純損失 (△) (円)                              | 12.03                | 37.72                | △14.37               | 197.33                            |
| 総 資 産 (千円)                                                      | 25,067,614           | 26,611,691           | 25,705,307           | 33,456,930                        |
| 純 資 産 (千円)                                                      | 9,096,936            | 9,482,631            | 9,218,102            | 12,452,703                        |
| 1株当たり純資産額 (円)                                                   | 644.86               | 671.51               | 652.05               | 879.81                            |

### ② 当社の財産及び損益の状況

| 区 分                                 | 第 38 期<br>(2023年8月期) | 第 39 期<br>(2024年8月期) | 第 40 期<br>(2025年8月期) | 第 41 期<br>(当事業年度)<br>(2026年8月期) |
|-------------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------------------|
| 売 上 高 (千円)                          | 84,594,373           | 82,070,144           | 78,599,536           | 96,324,703                      |
| 経 常 利 益 又 は<br>経 常 損 失 (△) (千円)     | 209,574              | 1,304,507            | △208,899             | 4,070,221                       |
| 当 期 純 利 益 又 は<br>当 期 純 損 失 (△) (千円) | 155,039              | 576,201              | △178,118             | 2,563,430                       |
| 1株当たり当期純利益又は<br>1株当たり当期純損失 (△) (円)  | 10.96                | 40.82                | △12.60               | 181.19                          |
| 総 資 産 (千円)                          | 24,276,668           | 25,274,617           | 25,076,731           | 31,903,138                      |
| 純 資 産 (千円)                          | 8,892,143            | 9,278,716            | 9,078,339            | 12,034,277                      |
| 1株当たり純資産額 (円)                       | 630.35               | 657.07               | 642.16               | 850.25                          |

### (3) 重要な親会社及び子会社の状況

#### ① 親会社の状況

該当事項はありません。

#### ② 重要な子会社の状況

| 会社名                         | 資本金              | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容       |
|-----------------------------|------------------|----------|---------------|
| KUROTANI NORTH AMERICA INC. | US\$2,000,000.00 | 100%     | 非鉄金属の販売       |
| CMX Metals                  | US\$5,000.00     | 100%*    | 非鉄インゴットの製造・販売 |
| 株式会社MERFロジスティクス             | 10,000,000円      | 100%     | 非鉄金属の運送       |

- (注) 1. 2025年6月18日に運送業を主とする株式会社MERFロジスティクスを設立し、2026年5月11日より営業開始しております。
2. 議決権比率欄の\*印は間接保有を含んでおります。

### (4) 対処すべき課題

当社グループの業績は、米国、欧州、我が国などの先進国や中国をはじめとした新興国の経済動向に左右されます。また、世界的な銅の需給動向、銅相場や為替相場の影響も大きく受けま  
す。当連結会計年度における事業環境は、データセンター建設急増、EVや電力網増強需要などを背景に国際銅価格が歴史的な最高値圏で推移し、国内市場でも円安が進行したことで、当社グループの業績および収益性は著しく改善し、過去最高益を更新する極めて堅調な推移となりました。一方、物価上昇や地政学的リスクによる先行き不透明感は依然として寝強く、市況変動に伴うリスクへの対応は今後とも課題となっています。

中長期的にみた場合には、経済動向や市況環境に大きく影響を受けるものの、ベースメタルを取り巻く環境は、新興国を中心としたインフラ整備による資源需要や脱炭素化、経済のグリーン化を進める動きなど、環境意識の高まりが趨勢的に増加していく中で、当社グループの取り扱っている非鉄金属リサイクル原料は重要な資源との認識の下、需要が強い状況が続くと判断しております。

かかる環境下、当社グループにおいても社名「MERF」(MEtal Recycling for the Future) に込めた想いの通り、幅広い金属資源の再利用とグローバルな事業展開の強化に向けた施策を取るとともに、人的資本の充実と設備更新や分析能力の向上により、コスト競争力を維

持する事が重要になってくると思われることから、以下の課題を克服することによって当社グループの企業としての価値を高めていきたいと考えております。

- ① 収益体制の強化
  - A. 高付加価値ビジネスモデルへの転換
  - B. 省力化・合理化投資の推進によるコスト低減・価格競争力の強化
  - C. 市況変動リスクヘッジへの取り組み拡大
  - D. 新ソース導入や受入時の検査充実による仕入力の強化
- ② グローバル戦略
  - A. 米国子会社の業務拡大
  - B. 海外市場へのアプローチ強化
  - C. グローバル化に向けた人材採用・育成
- ③ 経営体制の強化
  - A. コーポレート・ガバナンスの強化
  - B. 海外拠点との連携強化
  - C. DX推進による管理体制の整備及び強化
  - D. 安全管理体制の強化

#### (5) 主要な事業内容（2026年8月31日現在）

| 事業区分   | 事業内容                                                                                                                                         |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 非鉄金属事業 | (インゴット)<br>国内外から集荷した銅リサイクル原料及び銅合金リサイクル原料を配合、溶解し、得意先各社のニーズ、用途に合わせた形状・重量の製品約50品種を生産しております。                                                     |
|        | (リサイクル原料)<br>国内外の仕入先（リサイクル原料問屋、メーカー等）から仕入れた約150品種の非鉄金属リサイクル原料について選別・プレス等を行い、国内外の販売先（電線メーカー、銅精錬メーカー等）に販売しているほか、自社インゴット製造のための溶解用材料として利用しております。 |
|        | (その他)<br>伸銅品等の商品を仕入・販売しております。                                                                                                                |
| 美術工芸事業 | 美術工芸品の製造販売                                                                                                                                   |

## (6) 主要な営業所及び工場（2026年8月31日現在）

### ① 当 社

|           |          |
|-----------|----------|
| 本 社 ・ 工 場 | 富山県射水市   |
| 支 店       | 東京都千代田区  |
| 事 業 所     | 新潟県新潟市東区 |

### ② 子会社

|                             |                            |
|-----------------------------|----------------------------|
| KUROTANI NORTH AMERICA INC. | 本社（アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市）    |
| CMX Metals                  | 本社（アメリカ合衆国カルフォルニア州ロサンゼルス市） |
| 株式会社MERFロジスティクス             | 富山県射水市                     |

## (7) 使用人の状況（2026年8月31日現在）

### ① 企業集団の使用人の状況

| 事業区分   | 使用人数    | 前連結会計年度末比増減 |
|--------|---------|-------------|
| 非鉄金属事業 | 1 1 8 名 | 一名増         |
| 美術工芸事業 | 1 5 名   | 一名増         |
| 全社（共通） | 2 1 名   | 一名増         |
| 合計     | 1 5 4 名 | 一名増         |

（注）全社（共通）として記載している使用人数は、特定の事業に区分できない管理部門に所属しているものです。

### ② 当社の使用人の状況

| 使 用 人 数 | 前事業年度末比増減 | 平 均 年 齢   | 平均勤続年数    |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 1 2 0 名 | 1 名減      | 4 5 . 7 歳 | 1 5 . 2 年 |

(8) 主要な借入先及び借入額 (2026年8月31日現在)

| 借入先                 | 借入金残 (千円) |
|---------------------|-----------|
| 株 式 会 社 北 陸 銀 行     | 6,228,307 |
| 株 式 会 社 北 國 銀 行     | 4,001,747 |
| 株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行 | 1,275,000 |

## 2. 株式の状況（2026年8月31日現在）

- (1) 発行可能株式総数 28,000,000株  
(2) 発行済株式の総数 14,153,884株（自己株式183,316株を除く）  
(3) 株主数 13,361名  
(4) 大株主（上位10名）

| 株主名                                                             | 持株数        | 持株比率   |
|-----------------------------------------------------------------|------------|--------|
| 株式会社黒谷商店                                                        | 5,696,000株 | 40.24% |
| 黒谷純久                                                            | 3,024,900株 | 21.37% |
| 株式会社 SMC                                                        | 400,000株   | 2.83%  |
| 黒谷 暁                                                            | 223,500株   | 1.58%  |
| 黒谷昌輝                                                            | 200,000株   | 1.41%  |
| いずも産業株式会社                                                       | 180,600株   | 1.28%  |
| 株式会社北陸銀行                                                        | 140,000株   | 0.99%  |
| 黒谷春美                                                            | 120,000株   | 0.85%  |
| BNP PARIBAS NEW YORK BRANCH FOR<br>TREATY<br>(常任代理人 香港上海銀行東京支店) | 104,400株   | 0.74%  |
| 株式会社ME R F従業員持株会                                                | 97,102株    | 0.69%  |

- (注) 1. 当社は、自己株式を183,316株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### (5) 当事業年度中に職務執行の対価として当社役員に対して交付した株式の状況

|                | 株式数     | 交付対象者 |
|----------------|---------|-------|
| 取締役（社外取締役を除く。） | 10,000株 | 3名    |
| 社外取締役          | —       | —     |
| 監査役            | —       | —     |

- (注) 当社の株式報酬の内容につきましては、事業報告「4. 会社役員の状況（5）取締役及び監査役の報酬等」に記載しております。

3. 新株予約権等の状況

該当事項はありません。

4. 会社役員の状況

(1) 取締役及び監査役の状況（2026年8月31日現在）

| 氏 名       | 会 社 に お け る 地 位 及 び 担 当      | 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                            |
|-----------|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 黒 谷 純 久   | 代 表 取 締 役 会 長                | KUROTANI NORTH AMERICA<br>INC.代表取締役<br>THAI KUROTANI CO.,LTD.取締役<br>(株)黒谷商店代表取締役<br>(株)雄祥代表取締役<br>CMX Metals CEO                                                           |
| 黒 谷 暁     | 代 表 取 締 役 社 長<br>社 長 執 行 役 員 |                                                                                                                                                                            |
| 浦 田 伊 希 子 | 常 務 執 行 役 員<br>常 務 執 行 役 部 長 |                                                                                                                                                                            |
| 石 黒 達 郎   | 社 外 取 締 役                    |                                                                                                                                                                            |
| 折 橋 清 弘   | 社 外 取 締 役                    | 折橋清弘税理士事務所代表<br>社会福祉法人 洋和会監事                                                                                                                                               |
| 長 谷 川 豊   | 社 外 取 締 役                    | ヤマト(株)代表取締役社長                                                                                                                                                              |
| 前 川 昌 之   | 社 外 取 締 役                    | 公認会計士税理士前川昌之事務所代表<br>(株)CONSOLIX代表取締役<br>(株)モデュレックス監査役<br>(株)アイ・ピー・エフ・コーポレーショ<br>ン代表取締役<br>(株)クレスコ社外取締役監査等委員<br>(株)モデュレックスホールディングス社<br>外監査役<br>(株)トラース・オン・プロダクト社外監<br>査等委員 |
| 飴 義 彦     | 常 勤 監 査 役                    |                                                                                                                                                                            |
| 西 島 剛     | 社 外 監 査 役                    | 西島剛税理士事務所代表                                                                                                                                                                |

| 氏 名     | 会 社 に お け る 地 位 及 び 担 当 | 重 要 な 兼 職 の 状 況                                                                                                                                                                                           |
|---------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 富 岡 和 治 | 社 外 監 査 役               | (株)ディスクロージャー代表取締役<br>(株)バイオメティクスシンパシーズ社<br>外取締役<br>YWT(株)取締役<br>PE & HR(株)社外監査役<br>富士ざくらホテル(株)社外監査役<br>メールソリューション・ジャパン(株)社<br>外監査役<br>SCAT(株)社外取締役<br>(株)千代田SDGs総研取締役<br>(株)エスポリア社外取締役<br>システムバンク(株)社外監査役 |

- (注) 1. 取締役石黒達郎氏、折橋清弘氏、長谷川豊氏及び前川昌之氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。
2. 監査役西島剛氏及び富岡和治氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。
3. 取締役折橋清弘氏、前川昌之氏、及び監査役西島剛氏は税理士の資格を有しており、財務、会計及び企業法務に関する相当程度の知見を有しております。
4. 取締役前川昌之氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。

## (2) 事業年度中に退任した取締役及び監査役

該当事項はありません。

## (3) 責任限定契約の内容の概要

当社は、すべての社外取締役、社外監査役との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。ただし、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が規定する額としております。

## (4) 役員等賠償責任保険契約の内容の概要

当社は、保険会社との間で、当社のすべての役員を被保険者として、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しております。当該契約の保険料は全額当社が負担しており、被保険者の実質的な保険料負担はありません。

当該契約は、被保険者がその地位に基づき行った行為（不作為を含む。）に起因して損害賠償請求がなされたことにより被る法律上の損害賠償金及び争訟費用等の損害を填補の対象としております。ただし、法令に違反することを認識しながら行った行為に起因して生じた損害は填補されないなど、一定の免責事由があります。

## (5) 取締役及び監査役の報酬等

### ① 取締役及び監査役の報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針に係る事項

当社の取締役（社外取締役を除く。）の報酬は、中長期的な株主価値及び企業業績の向上を図るため、企業業績と取締役個人の役位及び成果を適正に連動させることを基本方針として基本報酬額を決定しております。また、当該取締役に対しては、基本報酬に加え、持続的な企業価値向上に向けたインセンティブを付与する目的から、譲渡制限付株式報酬を支給することとしております。

社外取締役に対しては、特に当社の経営に対する妥当性・合理性を監督する立場としての判断が期待されるものと考えており、譲渡制限付株式報酬制度の対象外とし、基本報酬のみといたしております。

監査役（社外監査役を含む。）の報酬は、監査役が株主の負託を受けた独立した立場から当社の経営を監査する職責を負っていることから、企業業績とは連動させず、基本報酬のみとしております。

当社は、取締役の報酬に関する意思決定手続きの公正性、透明性、客観性を確保するため、代表取締役及び独立社外取締役で構成する任意の諮問機関として指名・報酬委員会を設置し、取締役の個人別の報酬額の決定に当たっては、当該委員会による審議を経て行うこととしております。

当社取締役の報酬の額又はその算定方法の決定に関する方針の決定権限は取締役会が有しておりますが、取締役の個人別の報酬の決定に関しては、当社全体の業績を勘案しつつ各取締役の成果について評価を行うには代表取締役社長が適しているとの判断のもと、取締役会決議により代表取締役社長にこれを委任しております。当事業年度におきましては、2025年11月20日開催の当社取締役会において、2025年11月14日に開催された指名・報酬委員会の審議結果を踏まえ、取締役の個人別の報酬の決定を代表取締役社長社長執行役員黒谷暁に委任する旨を決議しており、当該委任を受けた代表取締役社長は、指名・報酬委員会の意見を尊重し、取締役の個人別の報酬を決定しております。

なお、譲渡制限付株式報酬は、指名・報酬委員会の審議結果を踏まえ、取締役会において個人別の割当株式数を決議しております。

譲渡制限付株式の割当ての条件等は次の通りです。

当社の取締役（社外取締役を除く。以下「対象取締役」という。）に対して、譲渡制限付株式の付与のために支給する報酬は金銭債権（以下「金銭報酬債権」という。）とし、対象取締役は、当社の取締役会決議に基づき、支給される金銭報酬債権の全部を現物出資財産として払込み、当社の普通株式について発行又は処分を受けるものとします。なお、その1株当たりの払込金額は各取締役会決議の日の前営業日における東京証券取引所における当社の普通株式の終値（同日に取引が成立していない場合は、それに先立つ直近取引日の終値）とします。また、これによる当社の普通株式の発行又は処分に当たっては、当社と対象取締役との間で、以

下の内容を含む譲渡制限付株式割当契約（以下「本割当契約」という。）を締結するものとします。

(1) 譲渡制限期間

対象取締役は、本割当契約により割当を受けた日より3年間から5年間までの間で当社の取締役会が予め定める期間（以下「譲渡制限期間」という。）、本割当契約により割当を受けた当社の普通株式（以下「本割当株式」という。）について、譲渡、担保権の設定その他の処分をしてはならない（以下「譲渡制限」という。）。

(2) 退任又は退職時の取扱い

対象取締役が譲渡制限期間満了前に当社又は当社の子会社の取締役、執行役、取締役を兼務しない執行役員、監査役、使用人、顧問又は相談役その他これに準ずる地位のいずれの地位をも退任又は退職した場合には、その退任又は退職につき、任期満了、死亡その他正当な理由がある場合を除き、当社は、本割当株式を当然に無償で取得する。

(3) 譲渡制限の解除

上記（1）の定めにかかわらず、当社は、対象取締役が、譲渡制限期間中、継続して、当社又は当社の子会社の取締役、執行役、取締役を兼務しない執行役員、監査役、使用人、顧問又は相談役その他これに準ずる地位にあったことを条件として、本割当株式の全部について、譲渡制限期間が満了した時点をもって譲渡制限を解除する。ただし、当該対象取締役が、上記（2）に定める任期満了、死亡その他正当な理由により、譲渡制限期間が満了する前に上記（2）に定める地位を退任又は退職した場合には、譲渡制限を解除する本割当株式の数及び譲渡制限を解除する時期を、必要に応じて合理的に調整するものとする。また、当社は、上記の規定に従い譲渡制限が解除された直後の時点において、なお譲渡制限が解除されていない本割当株式を当然に無償で取得する。

(4) 組織再編等における取扱い

上記（1）の定めにかかわらず、当社は、譲渡制限期間中に、当社が消滅会社となる合併契約、当社が完全子会社となる株式交換契約又は株式移転計画その他の組織再編等に関する事項が当社の株主総会（ただし、当該組織再編等に関して当社の株主総会による承認を要さない場合においては、当社の取締役会）で承認された場合には、当社の取締役会の決議により、譲渡制限期間の開始日から当該組織再編等の承認の日までの期間を踏まえて合理的に定める数の本割当株式について、当該組織再編等の効力発生日に先立ち、譲渡制限を解除する。また、当社は、上記に規定する場合、譲渡制限が解除された直後の時点において、譲渡制限が解除されていない本割当株式を当然に無償で取得する。

(5) その他取締役会で定める事項

上記のほか、本割当契約における意思表示及び通知の方法、本割当契約の改定の方法その他取締役会で定める事項を本割当契約の内容とする。

- ② 当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等の内容が決定方針に沿うものであると取締役会が判断した理由

取締役会は、当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等について、報酬等の内容の決定方法及び決定された報酬等の内容が取締役会で決議された決定方針と整合していることや、指名・報酬委員会からの答申が尊重されていることを確認しており、当該決定方針に沿うものであると判断しております。

- ③ 当事業年度に係る報酬等の総額

| 役員区分             | 報酬等の総額<br>(千円)      | 報酬等の種類別の総額 (千円)     |          |              | 対象となる<br>役員の員数<br>(名) |
|------------------|---------------------|---------------------|----------|--------------|-----------------------|
|                  |                     | 基本報酬                | 業績連動報酬等  | 非金銭報酬等       |                       |
| 取締役<br>(うち社外取締役) | 168,147<br>(19,200) | 162,600<br>(19,200) | －<br>(－) | 5,547<br>(－) | 7<br>(4)              |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 19,200<br>(9,600)   | 19,200<br>(9,600)   | －<br>(－) | －<br>(－)     | 3<br>(2)              |
| 合 計<br>(うち社外役員)  | 187,347<br>(28,800) | 181,800<br>(28,800) | －<br>(－) | 5,547<br>(－) | 10<br>(6)             |

- (注) 1. 取締役の報酬等の額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。  
2. 業績連動報酬等の内容は賞与ですが、支給しておりません。  
3. 非金銭報酬等の内容は当社の株式であり、割当ての際の条件等は「① 取締役及び監査役の報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針に係る事項」に記載の通りであります。また、当事業年度における交付状況は「2. 株式の状況 (5) 当事業年度中に職務執行の対価として当社役員に対して交付した株式の状況」に記載しております。  
4. 取締役の報酬限度額は、2023年11月22日開催の第38回定時株主総会において、年額300百万円以内（うち社外取締役分は30百万円以内。ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役の員数は7名（うち社外取締役は4名）です。また、当該報酬限度額とは別枠として、2023年11月22日開催の第38回定時株主総会において、取締役（社外取締役を除く。）に対して譲渡制限付株式の付与のために支給する金銭報酬債権の総額として年額50百万円以内（ただし、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役（社外取締役を除く。）の員数は3名です。  
5. 監査役の報酬限度額は、2023年11月22日開催の第38回定時株主総会において、年額30百万円以内と決議いただいております。当該株主総会終結時点の監査役の員数は3名（うち社外監査役は2名）です。

## (6) 社外役員に関する事項

- ① 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係
- ・取締役折橋清弘氏は、すべての兼職先との間には特別な関係はありません。
  - ・取締役長谷川豊氏は、ヤマト（株）代表取締役社長であります。当社と兼職先との間には特別な関係はありません。
  - ・取締役前川昌之氏は、すべての兼務先と当社との間には特別な関係はありません。
  - ・監査役西島剛氏は、西島剛税理士事務所代表であります。当社と兼職先との間には特別な関係はありません。
  - ・監査役富岡和治氏は、すべての兼務先と当社との間には特別な関係はありません。

## ② 当事業年度における主な活動状況

|             | 出席状況及び発言状況及び社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                        |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役 石 黒 達 郎 | 当事業年度に開催された取締役会14回のうち14回に出席しました。主に企業経営経験者として高い見地から当社の経営に対する適切な助言を期待していたところ、取締役会における助言・提言や任意の指名・報酬委員会の委員としての活動等を通して、期待された役割を果たしております。         |
| 取締役 折 橋 清 弘 | 当事業年度に開催された取締役会14回のうち14回に出席しました。主に税理士として専門的な見地から取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を取締役会で適宜行っており、期待された役割を果たしております。                                |
| 取締役 長谷川 豊   | 当事業年度に開催された取締役会14回のうち14回に出席しました。長い海外経験で培われたグローバルな見識及び企業経営経験者として高い見地から当社の経営に対する適切な助言を期待していたところ、取締役会における助言・提言を行っており、期待された役割を果たしております。          |
| 取締役 前 川 昌 之 | 当事業年度に開催された取締役会14回のうち14回に出席しました。主に会計士及び税理士として専門的な見地から取締役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を取締役会で適宜行っており、任意の指名・報酬委員会の委員としての活動等を通して、期待された役割を果たしております。 |

|             | 出席状況及び発言状況及び社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                                                     |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 監査役 西 島 剛   | 当事業年度に開催された取締役会14回のうち14回に、また、監査役会14回のうち14回に出席しました。主に税理士として専門的な見地から取締役会意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行い、また、監査役会においても豊富な経験と高い見識に基づき適宜、必要な発言を行っており、期待された役割を果たしております。             |
| 監査役 富 岡 和 治 | 当事業年度に開催された取締役会14回のうち14回に、また、監査役会14回のうち14回に出席しました。会計の専門的な知見と企業経営経験者としての豊富な経験から取締役会意思決定の妥当性・適正性を確保するための助言・提言を行い、また、監査役会においても豊富な経験と高い見識に基づき適宜、必要な発言を行っており、期待された役割を果たしております。 |

# 連結貸借対照表

(2026年8月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目                    | 金 額               | 科 目                          | 金 額               |
|------------------------|-------------------|------------------------------|-------------------|
| <b>(資 産 の 部)</b>       |                   | <b>(負 債 の 部)</b>             |                   |
| <b>流 動 資 産</b>         | <b>27,716,748</b> | <b>流 動 負 債</b>               | <b>16,092,302</b> |
| 現 金 及 び 預 金            | 4,070,502         | 支 払 手 形 及 び 買 掛 金            | 2,865,760         |
| 受 取 手 形                | 254,855           | 電 子 記 録 債 務                  | 175,032           |
| 電 子 記 録 債 権            | 915,425           | 短 期 借 入 金                    | 8,749,999         |
| 売 掛 金                  | 11,568,554        | 1年内返済予定の長期借入金                | 1,320,971         |
| 商 品 及 び 製 品            | 3,083,763         | リ ー ス 債 務                    | 178,767           |
| 仕 掛 品                  | 539,768           | 未 払 金                        | 507,492           |
| 原 材 料 及 び 貯 蔵 品        | 4,479,427         | 未 払 法 人 税 等                  | 1,602,476         |
| 前 渡 金                  | 2,344,831         | 未 払 消 費 税 等                  | 153,611           |
| そ の 他                  | 459,617           | 賞 与 引 当 金                    | 136,513           |
| <b>固 定 資 産</b>         | <b>5,740,181</b>  | そ の 他                        | 401,676           |
| <b>有 形 固 定 資 産</b>     | <b>3,291,681</b>  | <b>固 定 負 債</b>               | <b>4,911,924</b>  |
| 建 物 及 び 構 築 物          | 496,893           | 長 期 借 入 金                    | 3,702,259         |
| 機 械 装 置 及 び 運 搬 具      | 718,475           | リ ー ス 債 務                    | 614,740           |
| 土 地                    | 1,521,121         | 繰 延 税 金 負 債                  | 347,212           |
| リ ー ス 資 産              | 375,324           | 退 職 給 付 に 係 る 負 債            | 159,699           |
| そ の 他                  | 179,866           | 長 期 前 受 収 益                  | 27,973            |
| <b>無 形 固 定 資 産</b>     | <b>32,473</b>     | そ の 他                        | 60,040            |
| <b>投 資 そ の 他 の 資 産</b> | <b>2,416,027</b>  | <b>負 債 合 計</b>               | <b>21,004,226</b> |
| 投 資 有 価 証 券            | 2,029,644         | <b>(純 資 産 の 部)</b>           |                   |
| 関 係 会 社 長 期 貸 付 金      | 0                 | <b>株 主 資 本</b>               | <b>10,908,505</b> |
| 繰 延 税 金 資 産            | 66,966            | 資 本 金                        | 1,000,000         |
| そ の 他                  | 319,415           | 資 本 剰 余 金                    | 699,328           |
| <b>資 産 合 計</b>         | <b>33,456,930</b> | 利 益 剰 余 金                    | 9,304,664         |
|                        |                   | 自 己 株 式                      | △95,487           |
|                        |                   | <b>そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額</b> | <b>1,544,197</b>  |
|                        |                   | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金      | 1,299,812         |
|                        |                   | 為 替 換 算 調 整 勘 定              | 244,385           |
|                        |                   | <b>純 資 産 合 計</b>             | <b>12,452,703</b> |
|                        |                   | <b>負 債 純 資 産 合 計</b>         | <b>33,456,930</b> |

連結損益計算書

(2025年9月1日から)  
(2026年8月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額       |             |
|-----------------|-----------|-------------|
| 売上高             |           | 106,845,741 |
| 売上原価            |           | 99,447,607  |
| 売上総利益           |           | 7,398,133   |
| 販売費及び一般管理費      |           | 2,957,451   |
| 営業利益            |           | 4,440,682   |
| 営業外収益           |           |             |
| 受取利息及び配当金       | 41,640    |             |
| 為替差益            | 198,279   |             |
| 受取保険金           | 143       |             |
| 貸倒引当金戻入額        | 6,481     |             |
| 雑収              | 47,751    |             |
| その他             | 11,708    | 306,005     |
| 営業外費用           |           |             |
| 支払利息            | 181,821   |             |
| 持分法による投資損失      | 2,998     |             |
| デリバティブ評価損       | 178,625   |             |
| その他             | 40,992    | 404,438     |
| 経常利益            |           | 4,342,249   |
| 税金等調整前当期純利益     |           | 4,342,249   |
| 法人税、住民税及び事業税    | 1,631,375 |             |
| 法人税等調整額         | △80,818   | 1,550,556   |
| 当期純利益           |           | 2,791,693   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 |           | 2,791,693   |

貸 借 対 照 表

(2026年8月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目         | 金 額        | 科 目           | 金 額        |
|-------------|------------|---------------|------------|
| ( 資 産 の 部 ) |            | ( 負 債 の 部 )   |            |
| 流 動 資 産     | 26,583,394 | 流 動 負 債       | 15,266,140 |
| 現金及び預金      | 3,700,479  | 支払手形          | 14,964     |
| 受取手形        | 254,855    | 電子記録債権        | 175,032    |
| 電子記録債権      | 915,425    | 買掛金           | 2,294,480  |
| 売掛金         | 10,565,192 | 短期借入金         | 8,750,000  |
| 商品及び製品      | 2,381,099  | 1年内返済予定の長期借入金 | 1,311,596  |
| 仕掛品         | 539,768    | リース債権         | 68,267     |
| 原材料及び貯蔵品    | 3,711,396  | 未払金           | 564,934    |
| 前渡金         | 2,344,831  | 未払費用          | 23,483     |
| 前払費用        | 87,626     | 未払法人税等        | 1,602,395  |
| 関係会社短期貸付金   | 1,849,721  | 未払消費税等        | 153,828    |
| その他の        | 232,997    | 賞与引当金         | 119,512    |
| 固 定 資 産     | 5,319,744  | その他の          | 187,646    |
| 有形固定資産      | 3,057,258  | 固 定 負 債       | 4,602,721  |
| 建物          | 435,565    | 長期借入金         | 3,698,458  |
| 構築物         | 61,328     | リース債権         | 367,754    |
| 機械及び装置      | 541,577    | 退職給付引当金       | 159,699    |
| 車両運搬具       | 12,699     | 長期前受収益        | 27,973     |
| 工具、器具及び備品   | 105,083    | 繰延税金負債        | 348,836    |
| 土地          | 1,521,121  | 負 債 合 計       | 19,868,861 |
| リース資産       | 330,509    | ( 純 資 産 の 部 ) |            |
| 建設仮勘定       | 49,374     | 株 主 資 本       | 10,734,464 |
| 無 形 固 定 資 産 | 32,440     | 資 本 金         | 1,000,000  |
| ソフトウェア      | 26,486     | 資 本 剰 余 金     | 699,328    |
| その他の        | 5,954      | 資本準備金         | 293,024    |
| 投資その他の資産    | 2,230,045  | その他の資本剰余金     | 406,304    |
| 投資有価証券      | 2,029,644  | 利 益 剰 余 金     | 9,130,623  |
| 関係会社株式      | 166,906    | 利益準備金         | 9,000      |
| 出資金         | 111        | その他の利益剰余金     | 9,121,623  |
| 関係会社長期貸付金   | 0          | 別途積立金         | 1,550,000  |
| 長期前払費用      | 643        | 繰越利益剰余金       | 7,571,623  |
| その他の        | 32,738     | 自 己 株 式       | △95,487    |
| 資 産 合 計     | 31,903,138 | 評価・換算差額等      | 1,299,812  |
|             |            | その他有価証券評価差額金  | 1,299,812  |
|             |            | 純 資 産 合 計     | 12,034,277 |
|             |            | 負 債 純 資 産 合 計 | 31,903,138 |

損益計算書

(2025年9月1日から  
2026年8月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額        |
|--------------|------------|
| 売上高          | 96,324,703 |
| 売上原価         | 90,299,763 |
| 売上総利益        | 6,024,939  |
| 販売費及び一般管理費   | 1,837,353  |
| 営業利益         | 4,187,586  |
| 営業外収益        |            |
| 受取利息         | 123,441    |
| 受取配当金        | 23,375     |
| 為替差益         | 138,756    |
| 受取保険金        | 143        |
| 貸倒引当金戻入額     | 674        |
| その他          | 8,673      |
| 295,065      |            |
| 営業外費用        |            |
| 支払利息         | 196,907    |
| デリバティブ評価損    | 178,625    |
| その他          | 36,896     |
| 412,430      |            |
| 経常利益         | 4,070,221  |
| 税引前当期純利益     | 4,070,221  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,544,284  |
| 法人税等調整額      | △37,492    |
| 当期純利益        | 1,506,791  |
|              | 2,563,430  |

## 株主総会参考書類

### 議案及び参考事項

#### 第1号議案 剰余金処分の件

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、安定配当の維持を基本方針としております。第41期の期末配当につきましては、今後の事業展開等を勘案して、以下のとおりといたしたいと存じます。

① 配当財産の種類

金銭といたします。

② 配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき金20円（うち普通配当10円、特別配当10円）といたしたいと存じます。

なお、この場合の配当総額は283,077,680円となります。

③ 剰余金の配当が効力を生じる日

2026年11月20日といたしたいと存じます。

第2号議案 取締役1名選任の件

本定時株主総会終結の時をもって、取締役 浦田伊希子氏は辞任されますので、その補欠として取締役1名の選任をお願いするものであります。なお、補欠として選任された取締役の任期は、当社の定款の定めにより、他の在任取締役の任期の満了する時までとなります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 氏 名<br>(生年月日)                                                                                                         | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                 | 所有する当社の<br>株 式 数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------------|
| くろたに まさてる<br>黒 谷 昌 輝<br>(1995年10月9日)                                                                                  | 2020年4月 当社入社                                  | 200,000株         |
|                                                                                                                       | 2020年11月 当社社長室長                               |                  |
|                                                                                                                       | 2021年5月 KUROTANI NORTH AMERICA INC.<br>プレジデント |                  |
|                                                                                                                       | 2024年9月 当社執行役員社長室長兼経理部・管理部<br>管掌役員            |                  |
|                                                                                                                       | 2024年11月 当社執行役員社長室長兼管理部・原価<br>管理室管掌役員         |                  |
|                                                                                                                       | 2025年5月 当社執行役員非鉄営業部長兼非鉄営業<br>部管掌役員            |                  |
|                                                                                                                       | 2026年9月 当社執行役員社長室長兼非鉄営業部<br>管掌役員（現任）          |                  |
| 【取締役候補者とした理由】<br>黒谷昌輝氏は、社長室長として培った経営感覚と非鉄営業部長としての経験を生かし、執行役員として手腕を発揮しており、今後も重要な職責を担っていくことから、新たに取締役として選任をお願いするものであります。 |                                               |                  |

※黒谷昌輝氏は当社代表取締役会長黒谷純久氏の実子であります。

以 上

# 株主総会会場ご案内図

## 会場

ホテルニューオータニ高岡  
4階 鳳凰の間

富山県高岡市新横町1番地  
TEL:0766-26-1111 (代表)

会場が前回と異なっておりますので、  
お間違えのないようにご注意ください。

## 交通

あいの風  
とやま  
鉄道

「高岡駅」より徒歩で  
約**7**分

北陸  
新幹線

「新高岡駅」より車で  
約**10**分

お車でお越しの方はホテルニューオータニ  
高岡の指定駐車場をご利用ください。

